

議 事 録

会議名	令和6年度第2回文化財保護委員会会議		
日 時	令和7年3月18日（火）午後1時15分から	開催形態	公開
場 所	役場分庁舎1階会議室（電算会議室）		
出席者	委員：玉園篤敏、佐原慧、藤井孝、北條芳隆、杉崎清 事務局：大川教育長、高橋教育次長、奥谷課長、小林主査 傍聴者1名		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度文化財保護事業報告及び令和7年度文化財保護事業計画 (2) 近世近代の埋蔵文化財保護について ・協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 町指定重要文化財補助金について 		
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 北條会長 大川教育長</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 令和6年度文化財保護事業報告及び令和7年度文化財保護事業計画</p> <p>事務局) 資料1 令和6年度文化財保護事業報告を説明 会長) 倉見大原遺跡の概要は 事務局) 奈良平安期の溝状遺構を中心に、ピット等出土している 委員) 縄文フェスは初めてとのことだが、実施のきっかけ等は 事務局) 音楽を中心に活動している、さむかわ音楽ひろばという民間の団体が主催しているもので、縄文をモチーフにした劇を上演していてそれが好評であり、例年同団体が中心で実施している音楽祭について縄文をテーマとして実施した。教育委員会も展示や説明等協力をしている。</p> <p>委員) 面白い催しだと思う。町のことをPRする良い機会だと思う。</p>		

国府祭を知らない方も多いのでこのような場でPR できればと思う。

会長) 来年度も5月3日に開催か?

事務局) その予定である。

会長) 時期的に良いのかもしれない。積極的支援をしていただければと思う。

副会長) 茅ヶ崎市の北陵高校の所の遺跡と寒川の関係は

事務局) 下寺尾官衙遺跡群のことであり、遺跡群の中に寒川の遺跡も2遺跡存在している。しかし小出川工事で記録保存後消滅したため国指定範囲にはなっていない。

副会長) この関係で新年度でも行事等あるのか

事務局) 5月に例年茅ヶ崎市と共催で考古学講座を実施しているが、来年度も下寺尾官衙遺跡群国指定10周年を記念して茅ヶ崎市と共催で講座を実施予定である。

会長) 近隣市町村と連携して普及啓発を実施するのは良いアイデアだと思う。

委員) 文化財学習センターの活用については何かあるか、町民が足を運ぶ機会も少ない。学校での事業の活用について、報告で学校授業での活用が見られるがどのような形なのか

事務局) 小学校3年生の授業「昔の暮らし」で近隣小学校が学習センターに見学に来ている。時々ではあるが6年生の歴史の授業で見学に来たこともある。また、新任教師の研修の一環で文化財学習センターを見学に来ている。

会長) 授業の時の説明や講師は文化財学習センター職員が対応か

事務局) そうである

会長) 専門家が小学生に話しても温度差がある時がある。他市町村の事例として考古学や歴史に興味のある主婦などに小学生目線で説明してもらうこともある。専門家と一般の方との懸け橋になるようなボランティアなどを育てるのも良いかと思う。担当一人で色々やるのは限界があるのでそのようなサポートをする方を育てていただければと思う。

事務局) 資料2令和7年度文化財保護事業計画を説明

委員) 文化財の保存整理について、民具等の寄贈はあるのか、また申出があったものはすべて受けているのか

事務局) 年1, 2件はある。学習センターの場所も限られているので既存のものや、大きいものについてはお断りすることもある。

委員) 町の中でも無くなってしまいう文化財も多い。講組織も終了となるところも多い。すべては難しいと思うが、それらの民具等の受け皿があると良い。

事務局) すべて受けるのは難しいが、過去の事例だと 100 年前ごろの子供神輿を受けた。

委員) 講組織が無くなるのを目の前で見た。何かしらでも残せればと思う。

副会長) 消えていく伝統行事はある。郷土研究会があるが、昔の話を聞くなどの冊子を発行していた。お飾り講習会以外に、郷土研究会とこのような連携はしているのか。

事務局) 現在は会員数も少なく、お飾り講習会を続けていけるかどうかという状態。冊子発行もかなり以前に終了となっている。現在の連携事業以外は難しい状況である。

会長) 無形文化財の保護は難しい問題。高齢化社会、コミュニティ複雑化、保存をその場所でやらず切り取って保存に意味があるのか、全国的に共通する課題である。ある地方では外国の方がかつてのお祭りを盛り上げるなど、新たに来た方々も巻き込んでいくようなありかたもあるかと思う。

(2) 近世近代の埋蔵文化財保護について

事務局) 資料 3 近世近代の埋蔵文化財保護について説明

会長) 趣旨としてはどのようなことか

事務局) 県や市町村としては基準にある遺跡等はすべて周知化していくのかという懸念があったが、各県で今回の報告の趣旨にそった基準を作成し近世近代の埋蔵文化財の保護を図って下さいと理解をした。

4. 協議事項

(1) 町指定重要文化財補助金について

事務局) 資料 4 町指定重要文化財補助金申請書(案)を説明。令和 7 年度予算成立後資料 4 のとおりの補助金交付について協議をお願いしたい。

委員) 町との連携や相互関係を築けて行けることをアピールできる良い機会である。氏子さんにお金を集めてもらったが大変であった。これを機に何か見て回るような行事等ができないか考えている。

会長) 補助金について承認ということによいか。

一同承認

	<p>5. その他 事務局) 令和7年度に組織改編があり文化財主管課が生涯学習課となる。 事務局) 令和7年度に大蔵東原遺跡について発掘調査予定である。</p> <p>以降議事進行は事務局</p> <p>6. 閉会 副会長</p>
<p>資 料</p>	<p>※ 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度文化財保護事業報告 2 令和7年度文化財保護事業計画 3 近世近代の埋蔵文化財保護について 4 町指定重要文化財補助金申請書 (案)
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>会長 北條 芳隆 (令和7年4月25日確定)</p>